

全国的に、インフルエンザが異例の流行をしているようです。9月にははこま草保育園でも感染が広がってしまいました。現在は落ち着いていますが、本格的に感染が広がるのは、気温が下がり、空気が乾燥するこれからの季節になります。予防には、手洗いうがいの他に、予防接種が効果的と言われています。重症化の予防の為に、接種をお勧めします。

朝晩はかなり冷え込むようになりましたが日中はまだまだ気温が上がる日が多いです。調節しやすい服装で登園しましょう。

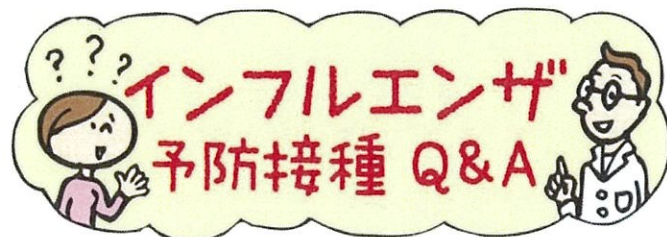


はおれる上着があると便利！



目の愛護デー

10月10日の数字を横にすると、目とまゆ毛に見えることから、1931年に「視力保存デー」として制定され、戦後「目の愛護デー」となりました。乳幼児期は最も目の機能が育つ時期で、6歳くらいで大体大人と同じ視力と言われています。小さい子どもは目の病気にかかったり、視力に異常が生じて、ほとんどの場合、自分から症状を訴えることがありませんので大人が注意しておくことが必要です。目を細めて見るとか横目で見る等いつもと違うと感じたら、早めに病院を受診することをお勧めします。



かぜよりも症状が重く、感染力も強いインフルエンザ。0、1、2歳児がかかると、肺炎やインフルエンザ脳症を引き起こすことも。予防接種を受けておくと、万が一かかっても軽い症状で済むので安心です。

Q 去年インフルエンザの予防接種を受けたので、今年は受けなくてよい？

A 原因になるウイルスには、主にA型、B型、C型の3つがあり、年によって流行する型が違います。A型B型がよく流行しますが、毎年予防接種を受けることで、効果が期待できます。

Q 受けるとインフルエンザにかからないの？

A 必ず発病を防げるというものではありませんが、かかっても重症化したり、合併症を起こしたりするリスクを減らすことができます。

Q 予防接種の効果が続く期間は？

A 接種後、効果が現れるまでに約2週間かかり、その後半年くらいは持続します。

Q 接種の方法は？

A 生後6か月から受けられます。大人は1回接種、13歳以下の子どもは2回接種が必要。1回目の接種の後、2～4週間あけて2回目を接種します。ただし卵アレルギーがある子は、医師と相談しましょう。

Q いつごろ受けたほうがよいの？

A 最も患者数が増えるのは1月～2月ですが、流行は12月ごろから始まります。それまでに免疫をつけておきたいので、1回目は10月後半ごろ、2回目は2～4週間後に接種しましょう。

